モデルコース⑧
商業で賑わい芸術が彩る甲府柳町宿コース

甲府柳町宿は、甲府城下町に置かれた宿場で、多くの商人や、市川團十郎や歌川広重などの芸能人・芸術家で賑わった宿場です。この宿場の周辺には、魚町、桶屋町、鍛冶町など、職人らが集まる通りがあり、現在もその地の名前として継承されています。また、武家地や町人地を囲ったお堀と土塁の名残が所々に見られます。粋を好む江戸の洒落者たちに愛好された印伝や海のない甲斐国で海産物を楽しもうと生まれた煮貝など、江戸時代の情報誌『甲府買物独案内』に掲載されているお店で、今も当時の名物を手に入れることができます。

甲府城下町

旧鍛冶町

旧鍛冶町は甲府城下町にあった通りの一つで、現在の甲府市中央4〜5丁目付近です。その歴史は武田信玄の時代にまで遡り、信玄の命によって躑躅が崎館(現在の武田神社)の南東側に設けられた鍛冶小路の鍛冶職人の住居が、甲府城下に移築されたのがこの場所でした。
鍛冶町という町名は、江戸前期から1964(昭和39)年まで使用され、現在は通りの名称として残されています。

旧八日町

旧八日町は甲州街道と重なっており、甲府城下町の入口に位置しています。毎月8日に市場が開かれるなど、江戸時代は大変賑わったといわれています。
江戸中期に甲府勤番士が書き留めたとされる『裏見寒話』には「呉服屋、薬種屋、合羽屋などあり、府中第一のよき所也」と、記載されており、甲府城下における商いの中心地であったことが分かります。

旧魚町

江戸時代、駿河(静岡県)から甲斐国へは中道往還を通って、海産物が運ばれていました。甲府城下町で約400年間もの間、流通を担っていたのが、現在の甲府市中央2〜5丁目付近にある旧魚町と呼ばれる通りです。通り沿いには、今も甲州名物の煮貝を作り出した元祖「みな与」があり、魚町の面影と伝統を引き継いでいます。

旧横近習町

旧横近習町は甲府城跡の東側、現在の甲府市中央2丁目に当たります。甲府城跡の南にある山梨県庁から東に伸びる通りは今も「横近習町通り」と呼ばれ、その途中には横近習大神宮があり、旧町名の名残りを残しています。寛文年間の頃、旧横近習町にあった歓喜院に鐘楼が設置され、2時間ごとに1日12回、甲府の人たちに時を知らせる「時の鐘」の役目を果たしていました。

印伝(印傳屋 上原勇七本店)

印伝(印傳)は鹿革に漆で模様付けした伝統工芸品。400年の歴史を持ち、印度伝来を略したとも伝えられます。
甲州印伝は江戸時代に初代上原勇七が独自の技法を考案して生まれたとされ、1854(安政元)年に発行された「甲府買物独案内」にも掲載されています。また、十返舎一九の滑稽本「東海道中膝栗毛」にも、「腰に下げたる　印伝の巾着を出だし　見せる」と印伝が登場しています。
旧甲州街道に面し、甲府柳町宿のあった場所に建つ「印傳屋上原勇七本店」は印伝の様々な品物を販売・展示しています。

煮貝(みな与)

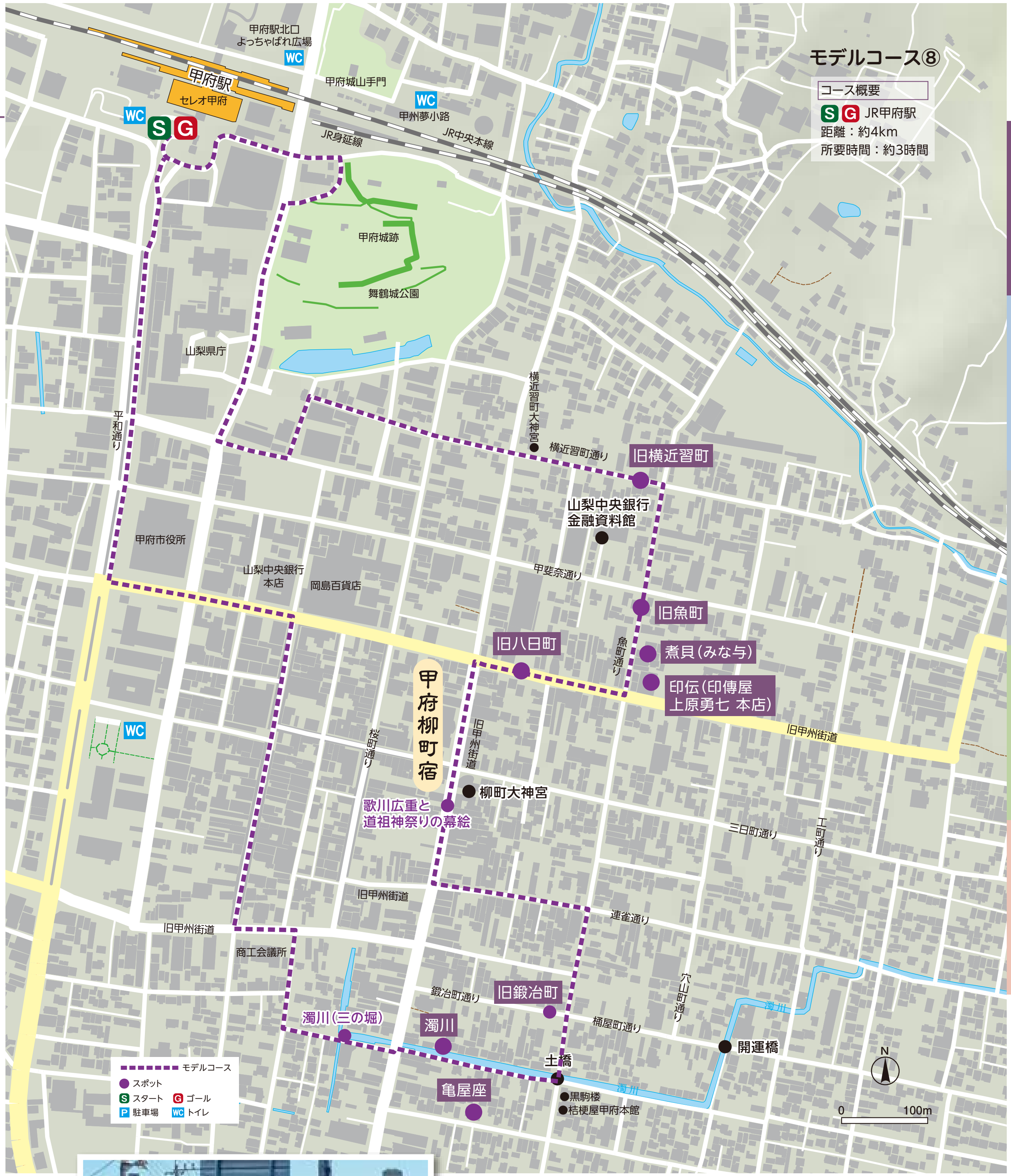
海に面した隣国、駿河国(今の静岡県)では新鮮な魚介類が獲れますが、輸送に時間がかかるため江戸時代に甲斐国に運ばれるのは、ほとんど塩漬や干物でした。アワビを生の味を生かした方法で甲州の人々に食べさせたいと、みな与の6代目と網元が加工方法について研究し、江戸末期の頃に煮貝の製法が完成したと伝えられています。浜で採れたアワビを醤油樽に詰め、馬の背に乗せて運ぶと、程よく揺られて馬の体温で温められ、甲府に着く頃には醤油がよく染みて程よい味加減になったといいます。

濁川(三の堀)

現在は甲府市の中心部を流れる笛吹川の支流に当たりますが、往時には三の堀として武士と庶民の生活範囲を分ける役割をしていました。甲府市若松町の一帯には、今でも「三の堀」の遺構である石垣が残り、その頃の雰囲気を今に伝えています。江戸中期には、富士川からこの川を使用してうなぎを卸したため、濁川周辺にはうなぎ料理屋が並んでいました。

亀屋座

江戸時代に甲府にあった芝居小屋です。
地元商人の亀屋与兵衛が光沢寺の境内に仮小屋を作ったのが始まりで、1803(享和3)年に現在の若松町に小屋を新築し、芝居興業を行いました。歌舞伎以外の芸能も上演されており、甲府の文化発信の中心的存在でした。当時は「甲府で流行った芝居は江戸でも流行る」と言われており、甲府の人々の芝居を見る目が肥えていたことが伺えます。



甲府柳町宿

甲州街道、甲斐国22番目の宿場。
甲府城下町の中の「柳町」という通りに、本陣や問屋場などの宿の機能が集約されていたため、「甲府柳町宿」という名前が付いたといいます。
甲府城の八日町口の手前で、甲州街道が90度に曲がっているのは、甲府城が簡単に攻められないよう、戦略的に考えられたものです。
甲府城下町があった場所は、1945(昭和20)年の空襲によりそのほとんどが焼けてしまったため、往時の姿を見つけることは難しいものの、狭い間口は残っています。

柳町大神宮